

# ゴーヤー（ニガウリ）の植え付け方



①プランターはなるべく底の深いものがよい。直接、地植え（直播）でも良い。

②水はけをよくするため、底に少し大きめのゴロ土や軽いしを1～2列ひく。





③ゴロ土が隠れる程度に培養土を入れる。 培養土は赤土(赤玉土小粒)と腐葉土を2 : 1の割合で混ぜたものでも良い。

④元肥(肥料)を入れる。化成肥料、配合肥料などが一般的。用土1ℓ当り4gを基準とする。





⑤今回は普通化成肥料(6-9-6)を使用。プランターの容量が32ℓなので肥料を128g入れた。

⑥ニガウリに肥料が直接触れて根が傷むのを防ぐため、プランターの途中の線まで土を入れる。





⑦育苗した苗を植える場合。植える位置を決める。この大きさのプランターならば苗は2本まで。(1本植えても良い)

⑧土を入れる。





⑨必ずウォータースペース(水の溜まる場所)を残すこと。品種、日付などを名札に書いておくと良い。

※今回配布している種は「中長ゴーヤー」という品種です

⑩根の活着を良くするため、短いタケなどを利用して支柱を立て、写真のようにヒモで結び固定する。





⑪ニガウリに直接水がかからないようにたっぷり灌水する。

⑫苗の植え付け終了。



## 種をまく場合



①種子を播く前日に一晩水につけておく。指で1～2cmの穴をあけ、1箇所2、3粒種子を播く。

②種子を播いた後、土をかけて灌水する発芽後、本葉が2、3枚でるまでに生育の良いもの1本に間引する。種子播き終了。

